

みんな、

特集

目次

4 巻頭エッセイ「ひとしづく」

川ガキと共生する地域の未来

村山嘉昭

ヒトに適した、
もっとも古い
泳ぎ方は？

6 「スポーツ科学」

「泳ぐ」にまつわる水とヒト

——あらためて考える水泳文化の未来 高木英樹

10

「身体教育・生活文化」

水を怖れず、侮らず、逆らわない！

——水練学校が伝えつづける泳ぎの哲学

大衆が
泳ぎを教わる
ようになった
のはいつ？

14

「生活文化・観光研究」

泳ぐだけじゃない?! 海水浴の価値

——「海離れ」の今こそ海辺を考える

畔柳昭雄

日本人の
海水浴はいつ
始まった？

今年も夏がやってきました。皆さん、最近泳いでいますか？「泳ぐ」という行為は、かつて人間が食料を得るために必要な術でした。戦国時代には武術の一つとなり、江戸時代には水域に応じた泳法が各地に生まれます。明治時代に海水浴が療養法として注目される一方、大正時代にクロールなど西洋式の近代泳法が取り入れられると、泳ぎはタイムを競うものへと変わっていきました。戦後の高度経済成長期には全国の小中学校にプールが整備されます。そして今、学校プールが徐々に減り、海水浴離れも囁かれています。曲がり角を迎えているようにも見える「泳ぐ」について、あらためて考えてみませんか？

海と川、
泳ぎやすい
のは？

16

「生活文化」

漁師さんはみんな泳げるの？

——南房総の人びとに聞いた、海辺の暮らし

泳いでる？



川で
どうやって
遊んで
いるの？

28

「生活文化」

「日本最後の清流」で育った川ガキたち

——川で安全に泳いで遊ぶ知恵の伝承

学校
プールが広まった
きっかけは？

20

「教育学」

いつまでもあると思うな、学校プール

——これからの水泳授業を考える 福岡尚子



24

「身体教育・社会学」

なぜ180種もの泳ぎ方が？

——日本泳法の一流派「水府流水術」を訪ねて

各地で
日本泳法が
発達した理由
とは？



今年度は
長崎県
島原市へ

秋田の
夏に
食べる鍋

連載

34

「水中のエメラルド」を食す「じゅんさい鍋」

36

暮らした根づいた水場の「価値」存続の論理

——名水百選「浜の川湧水」から考える生活と観光

野田岳仁

42

Go! Go! 109水系26

社会の変遷とともに堤防伸びゆく 木曾川

坂本貴啓

48

水を想う 水文シヨートインタビュー

50

センター活動報告

51

編集後記/ご案内
(敬称略)

取材でお会い
した人たちの
「水の思い出」
「水への想い」

32

「文化をつくる」

見えてきたのは「泳ぐ」の多彩さ

編集部

